

【位置共有用の赤外線ビーコン】 Apple

①要約：

アップルの赤外線ビーコンを使った位置共有システムの発明について解説しています。このシステムは、GPSの精度が不十分な場所や屋内環境での特定の人物を探す際に利用されるものであり、赤外線を使って相手の位置情報を受信する仕組みです。

②目的：

このアイデアの目的は、GPSや他の位置情報の取得手段が使えない状況で、簡単にかつ正確に特定の人物の位置を把握することです。特に、混雑した場所や屋内空間での位置共有やライドシェアサービスなどでの利用を想定しています。

③新規性：

赤外線を使用した位置共有システムは、従来のGPSやBluetoothなどの技術とは異なる手法であり、独自のアプローチです。特に、屋内やGPSの利用が難しい環境での位置特定において新規性があります。

④独自性：

アップルの赤外線ビーコンを利用した位置共有システムは、他社と比較して独自の技術であり、特許を取得するほどの独自性があります。赤外線を用いることで、通常の見えないがスマートフォンで簡単に受信できる仕組みが特徴です。

⑤経済価値：

この位置共有システムは、混雑した場所や屋内空間での位置特定が容易になるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。また、ライドシェアサービスや他のビジネスモデルに応用することで、新たなサービス価値を提供する可能性があり、経済的な付加価値を生むことが期待されます。